

ディアスポラの南部スーダン・アラビア語 —オーストラリアにおける現状と言語政策—

仲尾周一郎

1 はじめに

オーストラリアにおける(南部)スーダン出身者¹の人口は、2006年の国勢調査で19,000人を超えている。その大半はオーストラリア政府の人道支援に基づく第三国定住プログラムによる来豪者であり、第二次スーダン南北紛争(1983–2005)等のためエジプトやケニアで難民生活を経た背景を持つ。本稿ではそのような人々を「在豪南部スーダン人」と呼ぶ。

南部スーダンでは、リングフランカとしてアラビア語変種が話されるが、言語政策上は公的な地位や規範(標準語・正書法・識字教育など)を持たない。これに対して、オーストラリアでは、在豪南部スーダン人の支援にあたり、彼らの話すアラビア語変種に実践的な価値が見出され、言語政策(主として通訳・翻訳サービス)において運用されている。しかしながら、その言語政策の現場では混乱が生じている。

本稿では、在豪南部スーダン人によって使用されているアラビア語変種を分類した上で、主にオーストラリアの政府機関(GO)・非政府機関(NGO)による出版物を対象に、そこでの言語政策の混乱を指摘する。2節では南部スーダンおよび在豪南部スーダン人の社会言語学的概観、およびオーストラリアでの言語教育・言語サービスにおける南部スーダンの諸言語の概観を提示する。3節では筆者による南部スーダンのアラビア語変種の予備的調査に基づき、オーストラリアにおける南部スーダン人向けGO・NGO出版物の分析を行う。

2 南部スーダン人の社会言語学的背景

2.1 南部スーダンにおける言語政策と主要言語の話者人口

多くのアフリカ諸国同様、南部スーダンでは、第一言語として話される民族語(土着のアフリカ諸語)とリングフランカとして話されるアラビア語変種、法規的地位を持つ公用作業語(“official working language”)からなる垂直的多言語使用が認められる(仲尾2011a)。

¹ 2011年7月に南スーダン共和国は(旧)スーダン共和国より分離、独立している。これを受け2011年度以降のオーストラリア国勢調査では南スーダン共和国と(現)スーダン共和国出身の移民人口は別々に計上される予定である。本稿では旧南部スーダン暫定自治政府統治地域(南部10州)および現南スーダン共和国を包括する名称として「南部スーダン」を用いる(地理的にほぼ一致している)。ただし、Hajek & Musgrave(2010)がメルボルンで話される「スーダン人の言語」として、(現)スーダン共和国南部(南コルドファンや南ダルフル)に分布する諸言語を記録しているように、オーストラリア統計局資料で従来「スーダン人」とされていた人々には、僅かながら(現)スーダン共和国出身者が含まれる。

公用作業語に関しては、独立前の南部スーダン中間期憲法 (Interim Constitution, 2005–2011) では英語およびアラビア語とされていたが、独立後の南スーダン移行期憲法 (Transitional Constitution, 2011–) では英語のみに変更されている。教育政策は現憲法に明記されていないが、現憲法制定に前後して、標準アラビア語を排し、諸民族語による初等教育や英語による中高等教育が行われることが政府により決定された。

南部スーダンは 1948 年以降、図 1 のようにエクアトリア地域・バハル＝エル＝ガザル地域・上ナイル地域に大別される。南部スーダンの人口は、2008 年のスーダン共和国国勢調査では、約 826 万人とされている。

民族語の話者人口に関しては、バハル＝エル＝ガザル地域東部および上ナイル地域の北部などで話されるディンカ語 (Dinka, Western Nilotic) が約 135 万人で最大であり、上ナイル地域南部などで話されるヌエル語 (Nuer, Western Nilotic) が約 74 万人、エクアトリア地域でジュバを中心に話されるバリ語 (Bari, Eastern Nilotic) が約 42 万人でこれに次ぐ (Lewis 2009)。リングフランカとして話されるアラビア語変種については 3.1 で述べる。



図 1 南部スーダンの三地域

2.2 在豪南部スーダン人のデモグラフィと言語

オーストラリア統計局 (Australian Bureau of Statistics) による国勢調査では在豪南部スーダン人の人口は 2001–2006 年間に急激に拡大し、2006 年時点で 19050 人に上った。2006 年の国勢調査では、ビクトリア州 (図 2: VIC) およびニューサウスウェールズ州 (図 2: NSW) にそれぞれ約 6000 人が居住しており、その合計は在豪南部スーダン人の約 60%強を占める。年齢の中央値は 24.6 歳、男女比は約 6 : 5 とされる (DIAC n.d.)。

在豪南部スーダン人は主要都市の郊外に集住する傾向が見られる。メルボルン近郊では①グレーター・ダンデノン市 (Greater Dandenong)、②ブリンバンク市 (Brimbank)、③マリビノン市 (Maribyrnong) の順に人口が多い (MRCWR 2006)。そのうち、特に図 2 に示したフツツクレイ (Footscray)、ノーブルパーク (Noble Park)、ダンデノン (Dandenong) に在豪南部スーダン人が経営する商店や、ディンカ語・ヌエル語やアラビア語変種で説教を行う教会が存在し、このコミュニティの文化や経済の中心としての役割を果たしている。さらに、セイント・アルバンズ (St. Albans)、サンシャイン (Sunshine) などにも在豪南部スーダン人は多く居住している²。

² メルボルン西部郊外には在豪エチオピア・エリトリア・ソマリ人も集住しており (Borland & Mphande 2006)、筆者の調査時点で、在豪南部スーダン人は彼らとともにアフリカ人街を形成していた。なお、西部郊外・南東部郊外における最大の移民はベトナム出身者である (VMC 2007)。

Borland & Mphande (2006) は AMEP (成人移民英語プログラム, cf. 2.3) 利用者の申告に基づく第一言語に関するデータを用い、「ディンカ語」話者の約 70% が西部郊外に居住しているのに対し、「ヌエル語」話者の約 70% が南東部郊外に、“Sudanese” (いずれの言語を指しているか不明) 話者に関しては約 70% が南東部郊外に居住していると推定している³。実際、西部郊外はディンカ語話者が多数を占め、南東部郊外にはヌエル語話者やエクアトリア地域出身者が多く居住する傾向は、筆者の調査時期 (2011 年 9 月) にも確認できた⁴。

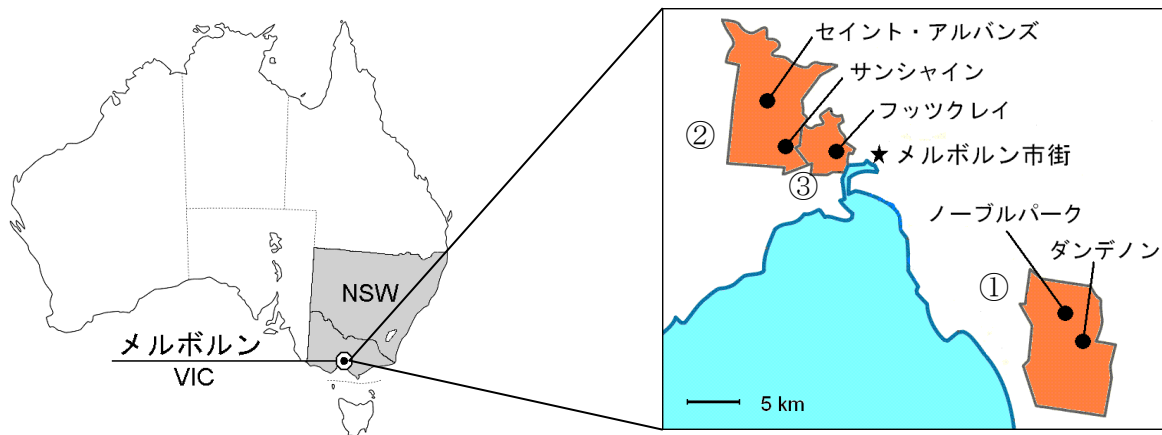


図2 在豪南部スーダン人の集住地区

在豪南部スーダン人によって話されている民族語の言語数に関しては、Hatoss & Sheely (2009) は 8 言語、Borland & Mphande (2006) は 15 言語、Hajek & Musgrave (2010) は 40 言語を挙げており、それぞれに重複した言語を除けば計 47 言語が確認されている⁵。

Borland & Mphande (2006) は主要な通訳・翻訳サービス機関にリクエストされた言語と回数をもとにビクトリア州における各言語話者数を推定している。その結果、在豪南部スーダン人の話す民族語に関しては「ディンカ語」3500 人が最多で、「ヌエル語」700 人がそれに次ぐ。アラビア語変種に関しては Borland & Mphande (2006) は “Arabic”, “Sudanese Arabic”, “Juba Arabic” の 3 種を認め、話者人口に “Sudanese Arabic” には 2400 人、“Juba Arabic” には 500 人を推定しているが、一次データではこの峻別が行われていない可能性が高く (cf. 3.3)、アラビア語各変種の話者数の推定は十分な根拠を持って行われたとはいえない。

また、アラビア語変種は南部スーダンではふつうリングフランカ、つまり第二言語であるにも関わらず、ディンカ語やヌエル語など、ふつう第一言語としてしか話されない民族語⁶と同列に扱われ、(やや強引に) 相互排他的な話者数が推測されている。この一次データと分析では、垂直的多言語使用 (cf. 2.1) の実態が反映されていないという問題も指摘できる。

³ 以下、オーストラリアの GO・NGO 出版物において使用されている言語名に「」または“”を付す。

⁴ この傾向は 2004 年には既に見られた (Coffey 2004)。

⁵ (現) スーダン共和国南部 (南ダルフル州・南コルドファン州) で話される 11 言語を含む。

⁶ ただし、南部スーダン都市部やスーダンのハルツームにはクレオール化した話者も多いことはこれまでに多数報告がある (仲尾 2011a)。なお、民族語維持はオーストラリアでも問題化している (cf. 2.3.1)。

2.3 在豪南部スーダン人向け言語教育・言語サービス

現在、オーストラリア政府は「アクセスと平等」の理念 (松田 2005) に則り、新来の移民に対し、① 成人移民英語プログラム (Adult Migrant English Program; AMEP)、② 翻訳・通訳サービス (Translating and Interpreting Service; TIS)、③ 主要な移民言語による公共多言語放送 (Special Broadcasting Services; SBS)、④ 二世以降の移民の言語維持を目的とした、コミュニティ言語教育 (Community Languages School) 等の、言語教育および言語サービスを行っている。これらに加え、移民リソースセンター・図書館・NGO・市民団体・民間企業なども同様の機能を果たしており、言語教育や言語サービスのあり方は非常に多様である。こうした言語教育・言語サービスは 1978 年以降のフレーザー政権下で開始されたものであり、当初はドイツ語・オランダ語・イタリア語・ギリシャ語・ベトナム語など、その標準語や正書法が確立し、識字能力を持つ話者の多い言語が射程に入っていた。

2000 年代以降のオーストラリアでは難民経験を背景に持つ移民が増加する傾向にある。その典型例の一つと目されている在豪南部スーダン人は、出生地ごとに言語背景が多様である上、公用作業語 (標準アラビア語や英語) 教育の不足、民族語の識字教育 (さらに一部の民族語に関しては正書法整備) の不足、リングフランカ (アラビア語変種) に至っては正書法さえ存在しないなど、近代国家において前提とされる言語背景とは大きく異なっている。

2.3.1 言語教育

在豪南部スーダン人向けの言語教育は、特に一世に対しての「第二言語としての英語教育 (English as a Second Language; ESL)」や民族語の識字教育、二世以降に対してのコミュニティ民族語教育などに分けられる。ESL に関してはオーストラリア政府によって行われている先述の AMEP、および NGO による活動が主要なものとして挙げられる⁷。

特に一世などを対象にした民族語の識字教育は、近年開始されている。ディンカ語に関しては、英語教育に先行した識字教育 (DEEWR 2009) や、ディンカ語協会やウェブサイト (Agamlönj Online) 立ち上げ支援などが行われている (Bianco et al. 2009)。

特に二世以降を対象にしたコミュニティ言語教育は、近年「バリ語」・「ディンカ語」・「ヌエル語」・「マディ語」については行われている (CLA 2007)。Hatoss & Sheely (2009) は、在豪南部スーダン人の若年層では、英語や「アラビア語」、「スワヒリ語」が使用領域を拡大しており、民族語の維持がやや問題であることを指摘しているなど、在豪南部スーダン人の言語維持に対する (少なくとも学術的な) 関心は高まりつつある。

なお、南部スーダン本国でリングフランカとして話されているアラビア語変種に関しては、現時点では識字教育やコミュニティ言語教育は全く行われていない⁸。

⁷ 在豪南部スーダン人に対する AMEP の現状や問題点については Dumenden (2007) 参照。主要な NGO 活動としては、大都市を中心に活動している SAIL Program などがある。

⁸ ただし、上記の SAIL Program では、所属する支援者向けに “Juba Arabic” 教室が開かれていたようである (SAIL Program 2005) が、これは在豪南部スーダン人に対する教育ではない。

2.3.2 翻訳・通訳サービス (TIS)

オーストラリア政府移民市民権省 (DIAC) が実施している翻訳・通訳サービス (TIS) は「国家 TIS (TIS National)」と呼ばれている。主に翻訳・通訳国家資格 (NAATI; National Accreditation Authority for Translators and Interpreters) 取得者が、政府との契約に則り、利用者の申請に基づいて電話や対面による通訳、および文書の翻訳などの業務を行うシステムである。現在 171 言語によるサービスが提供されており、在豪南部スーダン人向けには 10 以上の民族語、およびアラビア語 2 変種 “Juba” と “Sudanese Arabic” が用意されているようである⁹。

在豪南部スーダン人の話す言語への NAATI 取得者の養成に関しては、ロイヤル・メルボルン工科大学 (RMIT) 大学がその役を任ぜられており、ビクトリア多文化委員会 (VMC) からの奨学金により、2010 年までに “Dinka”, “Nuer”, “Sudanese Arabic” の通訳としてコースを修めた NAATI 取得者が輩出している。このうち “Sudanese Arabic” に関しては、NAATI で 1 言語として認可されていないため、名目上は標準アラビア語の資格となっている (Lai & Mulayim 2011)。

ビクトリア州政府は、独自の TIS として、ビクトリア通訳カード (Victorian Interpreter Card) を発行している。このカードはより地域的な公共機関 (病院、警察、裁判所、州立学校など) で提示することで、電話または対面による通訳を利用できる仕組みになっている。現在、少なくとも 30 言語によるサービスが行われており、そのうち在豪南部スーダン人向けの言語には、「アラビア語」に加え、「ディンカ語」および「ヌエル語」が用意されている。

2.1 で述べた南スーダン共和国の言語政策は、(旧) スーダン共和国政府との紛争や、国内での民族対立などの政治的背景に依拠している。そのため、リンガフランカを含めたアラビア語 (変種) や特定の民族語を公用語として用いることを避けた結果、実践面に関して問題を抱えていると考えられる。オーストラリアでの言語サービス (や言語教育) が、特定の民族語やアラビア語変種を実践に即して選択し、運用していることは対照的である¹⁰。



図3: ビクトリア通訳カード (上)
国家 TIS のカード (下)

⁹ 国家 TIS の申請フォーム (URL: www.immi.gov.au/living-in-australia/help-with-english/help_with_translating/booking.htm 最終閲覧 2011.12.30) で選択可能な 171 の言語名のうち、在豪南部スーダン人の話す民族語と考えうるものには、“Acholi”, “Bari”, “Dinka”, “Fur”, “Kakwa”, “Kuku”, “Luo”(?), “Luwa”(?), “Madi”, “Moru”, “Mundari”(?), “Nuer”, “Nyangwara”, “Pojuju”, “Zande” がある (ただし、“Fur” はスーダン共和国ダルフルで話されるフル語を指すと考えられる)。管見の限り “Juba” と “Sudanese Arabic” が峻別されている例はオーストラリアの全言語サービスにおいてこの申請フォームのみである。

¹⁰ ただし、アメリカ合衆国やカナダなどの難民ホスト国のほか、南部スーダンにおいてもラジオ局やテレビ局、国連開発計画 (UNDP) などの国連関連機関の活動 (URL: intra.sd.undp.org/bids/doc/449.pdf 最終閲覧 2011.12.28) でも、オーストラリアと同様の措置が採られている。

3 在豪南部スーダン人のアラビア語諸変種

3.1 南部スーダンにおけるアラビア語諸変種

南部スーダンで話されるアラビア語変種としては、エクアトリア地域都市部でリングフランカとして話されるジュバ・アラビア語 (Juba Arabic; JA, アラビア語系ピジンクレオール) が最もよく知られている。この言語の共時的な語彙供給言語は、スーダン共和国における口語レベルでの威信言語である、スーダン・アラビア語 (Sudanese Colloquial Arabic; SCA, またはハルツーム・アラビア語 Khartoum Arabic) であると考えられる。また、南部スーダンでは 2011 年の独立までは標準アラビア語 (Modern Standard Arabic; MSA) も公用作業語として使用されていた。以上の 3 種のアラビア語変種は Lewis (2009) でも峻別されている。

さらに、南部スーダン人の言説に基づけば、南部スーダンの北部地域 (バハル=エル=ガザル地域や上ナイル地域) の特に都市部では、スーダン口語アラビア語およびジュバ・アラビア語の「中間的な特徴を持つアラビア語」が話されていると言われる。一般的な南部スーダン人による言説では、一回的なジャーゴンとして、地名を冠した名称 (e.g. *Wau Arabic*, *Malakal Arabic*) が用いられることがある。Kaye (1991) は “Bahr El-Ghazal Arabic”, “Raga Arabic” といった名称でそのような変種を呼んでいるようだが、これまでにこうしたアラビア語変種の記述言語学的調査は行われておらず、変種としての認定さえ不十分である。

3.2 メルボルン在住南部スーダン人のアラビア語変種

仲尾 (2011b) ではハルツーム在住経験をもつ南部スーダン人の話すアラビア語変種「KJA」(およびオーストラリア等の出版物に現れる文語的な JA) を、JA を基層話体、SCA を上層話体とした後クレオール連続体における「中層話体」として位置づけた。

ただしこの段階では、この「中層話体」が南部スーダンの北部地域の「中間的なアラビア語」と単一の言語変種をなすか不明であった。この問題を補足するため、筆者は 2011 年 9 月にメルボルン (ラトロブ大学構内、ビクトリア大学構内、フツクレイ商店街、ノーブルパーク商店街) において在豪南部スーダン人を対象に自由談話を収集した。1 節で述べたように、在豪南部スーダン人は出自が多様であるが、現スーダン共和国の国内避難民キャンプ、ケニアやエジプトの難民キャンプを経て渡豪した経緯を持っている。以下、まずは渡豪の経緯がやや異なる二人の話者 EG 氏と MT 氏の自然談話から得られた例文を分析したのち、二人の話す変種が単一の変種 (「中層話体的ジュバ・アラビア語」Mesolectal Juba Arabic; **MJA**) をなすことを認め、このデータから推測される MJA の歴史について述べる。また、在豪南部スーダン人の民族語とアラビア語変種の相関についてのデータを提示する。

なお、音韻的分析は本稿の主目的ではないため、以下では便宜的に次のように音声を簡易転写する。単母音は i, ii, e, ee, a, aa, o, oo, u, uu (文字の連続は長母音を表す)、単子音は ' [ʔ], b, t, th [θ], j [j], kh [χ], h [h], d, dh [ð], r, z, s, sh [ʃ], ʂ [ʂ], ɗ [ɗ], ɗ̣ [ɗ̣], ʒ [ʒ], ʻ [ʻ], gh [ɣ], f, g, k, l, m, n, h, w, y, ŋ (アラビア文字アルファベット順) のように表記する。プロソディ上の卓立 (ストレス/ピッチアクセント) は鋭アクセント記号にて表記する。なお、グロスの略号はグロス略号一覧を参照されたい。

3.2.1 ハルツーム居住経験のある南部スーダン人のアラビア語変種

EG 氏はディンカ語母語話者であり、バハル＝エル＝ガザル地域の最北部に位置するトゥイチ地域 (Twic, アビエイ地域に隣接) 出身の若年層男性である。彼は言語形成期をハルツームで過ごした後、カイロやナイロビに居住した経験を持つ。EG 氏の話すアラビア語変種 (KJA) は、主語や TAM に応じた (随意的な) 動詞活用が観察される点で JA とは異なる (ただし、SCA では動詞活用は義務的)。(1) に一人称主語を表す動詞形式を含む例文を挙げる。

- (1) a. *ána jii-t juníub táani, já rija fi juníub [...].*
 1SG 来る.PERF-1SG 南部 また 来る 戻る LOC 南部

「僕はまた南部に [帰って] きた。帰ってきたんだ。」

- b. *kún-ta fi khartúum, aai. mashée-na khartúum, kún-na*
 COP.PERF-1SG LOC ハルツーム はい 行く.PERF-1PL ハルツーム COP.PERF-1PL
iyáal sukáar zee dé. masée-t kabír-na hináak.
 子供.PL 小さい.PL ように この 行く.PERF-1SG 大きくなる.PERF-1PL そこ

「僕はハルツームにいたよ。ああ。僕たちはそんな感じで、小さい子供の頃にハルツームに行って、そこで育ったんだ。」

- c. *ána ne-shúuf íta. yau, ána bi ád íta kaláas.*
 1SG 1SG-見る.IMPERF 2SG ほら 1SG TAM add 2SG もう

「僕は (SNS 上で) 君のことを見てみよう。ほら、もう友達申請しといたよ。」

- d. *wokit mára, ána bi nadí íta, nó-gwud sáwa, wónusu sáwa.*
 また今度 1SG TAM 呼ぶ 2SG 1PL-座る.IMPERF 一緒に 話す 一緒に

「また今度 (君を) 呼ぶから、一緒に座って話でしよう。」

ただし、ここで見られる 1 人称主語動詞活用は以下のように整理できるが、未完了形に見られる 1 人称複数形主語接頭辞は JA (人称活用なし) にも SCA にも見られないものである。

表 1 : 1 人称主語動詞活用 (ただし V は母音、STEM は動詞語幹)

	JA	EG 氏	SCA
1SG.PERF	なし	STEM- <i>t(a)</i>	STEM- <i>t(a)</i>
1PL.PERF	なし	STEM- <i>na</i>	STEM- <i>na</i>
1SG.IMPERF	なし	<i>nV-</i> STEM	' <i>a-</i> STEM
1PL.IMPERF	なし	<i>nV-</i> STEM	<i>nV-</i> STEM

なお、(2) に示すように 2 人称主語についても同様に動詞活用が観察される (3 人称主語を表す形式は無標の形式であるため、認定が難しい)。

- (2) a. *mofríud tó-gwud. welé ita máasi? ita máa déer tó-gwud?*
 よりよい 2SG-座る.IMPERF または 2SG 行く 2SG NEG 欲する 2SG-座る.IMPERF

「座ったらいいじゃないか。行くの？ 座りたくないってかい？」

- b. *welé bés tá-mshi ma suudaniiz.*
 または だけ 2SG-行く.IMPERF COM *Sudanese*

「あるいはまあ、(君が) スーダン人と一緒に行くだけさ。」

次に、接尾人称代名詞の獲得が観察される。例えば、「だけ」をあらわす焦点化副詞は、SCA では義務的に主要部の人称に一致して接尾人称代名詞が付加される (SCA. 1SG *baráa-y*, 2SG.M *baráa-k*, 3SG.M. *baráa-hu*) が、JA では常に単一の形式 (JA. *baráu* < 3SG.M) が使用される。しかし、(3b) が示すように、EG 氏のアラビア語変種ではこのような一致は随意的である。

- (3) a. *ána baráa-y, ina fi kompyúuta, máafi zool wónusu [...]*
 1SG だけ-1SG ここ LOC コンピュータ ない 人 話す

「僕はここでコンピュータの前に一人で、話す人もいなかった。」

- b. *íta baráa-k béss? [...] ita yaú jáa baráu fi ostréelya.*
 2SG だけ-2SG だけ 2SG FOC 来る だけ LOC オーストラリア

「君だけなのか？君だけでオーストラリアに来たのか？」

さらに、表 2 が示すように、EG 氏の話すアラビア語変種は SCA から一部の基礎語彙を借用している。このように、EG 氏の話すアラビア語変種は、動詞活用や接尾人称代名詞が(随意的ながら) 存在する点、一部の基礎語彙に関しては SCA と共通する。

表 2 : 基礎語彙の比較

	JA	EG 氏	SCA
行く	<i>rúwa</i> (<i>máshi</i>)	<i>-mshi</i> (IMPERF) <i>mash(ee)-</i> (PERF)	<i>-mshi</i> (IMPERF) <i>mash(ee)-</i> (PERF)
居る	<i>géni</i>	<i>-gwud</i> (IMPERF) <i>gaad-</i> (PERF)	<i>-g'ud</i> (IMPERF) <i>ga'ad-</i> (PERF)

逆に、EG 氏の話すアラビア語変種は /sh/ の実現が不安定であり /s/ と揺れ (e.g. (1b) *mashee-na* vs. *masee-t*)、(3b) が示す焦点化標識 (*yauí*)、次の (4) が示す文末助詞 (*ke*) や照応副詞 (*fógo*) を持つ。これらの特徴はいずれも SCA では見られず、JA に顕著である。

- (4) *fii mahál kida, bi gullóu sánalbon. hila ke.*
 ある 場所 そんな TAM という *St. Albans* 村 よ
fógo suudaniiz ketiir hináak.
 そこに *Sudanese* 沢山 そこ

「セイント・アルバンズという所がある。小さな町だよ。
 そこにはスーダン人が沢山居るんだ。」

その他、本稿では特に例は示さないが、EG 氏のアラビア語変種は、/kh/ や /h/ の実現も不安定である点 (前者は /k/ と揺れ、後者は脱落しやすい)、咽頭摩擦音や咽頭化／軟口蓋化子音を持たない点、SCA に存在する定性 (definiteness) や文法性 (gender) などの文法範疇を持たない点でも JA と共通している。

3.2.2 バハル＝エル＝ガザル出身者のアラビア語変種

MT 氏はヌエル語母語話者であり、バハル＝エル＝ガザル地域の中では最南東にあたる、ベンティウ (Bentiu) 周辺地域出身の中年層男性である。彼はエチオピア南西部、ジュバ、カクマ (ケニア北西部) に居住した経験を持つが、ハルツームには居住した経験がない。つまり、彼は KJA ではなく、南部スーダンの北部のアラビア語変種の話者である。

MT 氏のアラビア語変種には、先述の EG 氏と同様に、(5a) [随意的な] 動詞主語人称活用や (5b) 1SG. *nV-STEM* の形式、(6) 接尾人称代名詞のように SCA と共通する特徴や、(7) 焦点化標識や文末助詞の存在など、JA と共通する特徴が見られる。

- (5) a. *ána jée-t [...]* *min béled le ityóopya, u mashée-ta kénia.*
 1SG 来る.PERF-1SG から 田舎 に エチオピア そして 行く.PERF-1SG ケニア
 [...] *máa garée-t kitáab ta árabí.*
 NEG 読む.PERF-1SG 本 の アラビア語

「俺は田舎から出てきて [まず] エチオピアへ、それからケニアに行った。[そういうわけで] アラビア語は勉強していない。」

- b. *aaí, déer n-ágra ziyáada. [...]* *aaí, déer ná-amul.*
 はい 欲する 1SG-読む.IMPERF もっと はい 欲する 1SG-する.IMPERF

「うん、もっと勉強したい。もっとやりたい。」

- (6) *lissa ind-i wáahid sána, ána bi intáa.*
 まだ 持つ-1SG 一 年 1SG TAM 終わる

「俺はあと一年で終わりだ [卒業する]。」

- (7) *laakín bés, dé yaú sókol ta dúniya ke.*
 しかし だけ これ FOC 仕事 の 世界 よ

「だけどまあ、これが娑婆の理ってもんよ。」

3.2.3 中層話体的ジュバ・アラビア語

仲尾 (2011b) や 3.2.1 で分析したハルツーム居住経験者の話すアラビア語変種 (KJA)、3.2.2 で分析した南部スーダン北部地域で話されると考えられるアラビア語変種が以下のような点で概ね一致している (それぞれの特徴に関して詳細に調査する必要はある)。

- (8) a. (随意的な) 動詞現実法 (完了・未完了) の主語人称活用を持つ。
 b. (随意的な) 特殊な動詞非現実法の主語人称活用 (1SG. = 1PL. *nV*-STEM) を持つ。
 c. (随意的な) 接尾人称代名詞を持つ。
 d. SCA からの借用 (基礎語彙) が顕著である。
 e. JA に顕著な焦点化標識 *yaú*、文末助詞 *ke*、照応副詞 *fógo* などを持つ。
 f. 文法性や定性などの文法範疇を持たない。
 g. /sh/, /kh/, /h/ などの実現が不安定、咽頭摩擦音や咽頭化子音を持たない。

以上より、本稿ではこれらのアラビア語変種を単一の言語変種と認めることは、ある程度妥当であると考え、これらを総括して「中層話体的ジュバ・アラビア語」(MJA) と呼ぶ。一般的には、いわゆる「中層話体」の言語体系は上層話体と基層話体の言語体系の集合の和に対する部分集合であると解釈されるが、Gil (2006) は「中層話体のみに見られる範疇 (Distinctly Mesolectal Properties)」の存在を認めている。上記 (8b) は明らかにその 1 例であり、これは MJA を独立の言語変種と認める基準として重要である。

またこのとき、MJA は ① 南部スーダン北部地域の MJA、② ハルツーム (避難民) の MJA に二別できることになるが、歴史的には前者が後者に影響を与えたと推定できそうである。前者の発生に関しては、単なる類推である可能性も否定できないが、南部スーダン北部と隣接する、現スーダン共和国南コルドファン地域で話される口語アラビア語変種には、(8b) にやや類似した現象が見られるため (Manfredi 2010, 1SG. *a*-*nV*-STEM, 1PL. *nV*-STEM(-*u*))、こうしたアラビア語変種との言語接触に起因する言語変化の可能性も疑われる¹¹。

¹¹ なお、20 世紀初頭のウガンダ～南部スーダン地域では既に「後クレオール連続体」のようなものが存在した可能性がある (cf. Kaye & Tosco 1993) が、現在の MJA 発生との因果関係に関しては不明である。

3.2.4 民族語とアラビア語変種の相関

さらに、筆者は話者の民族語とアラビア語変種、およびその運用能力の相関に関して在豪南部スーダン人を対象に予備的調査を行った(ラトローブ大学構内、ビクトリア大学構内、フツクレイ商店街、ノーブルパーク商店街などで無作為にインタビューを行い、その言語特徴を表3の4段階で記録した。「なし」はアラビア語変種を話さない人数)。

表3：在豪南部スーダン人の話すアラビア語変種と運用能力の相関

	JA	MJA	MJA 少	なし
ディンカ語話者	0	11	3	6
ヌエル語話者	0	7	2	1
その他	4	1	0	0

表3の示すように、MJAはディンカ語・ヌエル語話者に顕著であり、その他の民族語話者(MJAを話す一人を除いて、エクアトリア地域出身)はJAを話す傾向が見られた。この傾向は明らかに南部スーダンにおける出身地域ごとのアラビア語変種の分布を反映しており、メルボルンにおける民族語の分布(cf. 2.2)とも一致しない。また、ディンカ語・ヌエル語は話者人口が多いため、必然的にMJA話者数はJA話者数より多いことも観察できる。

3.3 GO・NGO出版物における南部スーダン・アラビア語諸変種

GO・NGOはTISに準じて特定の民族語やアラビア語変種による出版(パンフレット・CD・DVD)も行っている。ある程度は臨機応変な対応が可能な通訳とは異なり、出版物、特に印刷物は正書法などの規範が要請される。このため、正書法をもつ大言語が多用される傾向が見られる。例えば、DIACは英語に加え37言語による印刷物*Beginning a Life in Australia*を発行しており、在豪南部スーダン人向けには「アラビア語」(MSA)、「ディンカ語」、「ヌエル語」の3言語が用意されているが、いずれも正書法をもつ大言語である。

また、いわゆるアラブ地域では一般に標準アラビア語と口語アラビア語からなるダイグロロシアが観察されるが、オーストラリアにおいてはこうした地域出身者に向けた口語アラビア語変種(e.g. エジプト・アラビア語、レバノン・アラビア語、イラク・アラビア語)による言語サービスや出版物は存在せず、標準アラビア語のみが用いられている¹²。

以上のような背景があるにも関わらず、在豪南部スーダン人は標準アラビア語の運用能力が不十分である(Borland & Mphande 2008)などの理由から、“Juba Arabic”, “Sudanese Arabic”と題された出版物が存在する。本節では、このような規範の欠如した言語変種に出版を行う際、どのような措置が採られ、現時点でどのような問題があるかを分析する。

¹² ただし、マルタ語(Maltese)は言語系統としては口語アラビア語に含まれるが、在豪マルタ人向けの言語教育や言語サービス、出版物に運用されている。こうした特別の措置が採られている理由としては、在豪南部スーダン人や在豪マルタ人が標準アラビア語の運用能力を持たず、なおかつ標準アラビア語をそのアイデンティティの拠り所としていないことが挙げられよう。

3.3.1 在豪南部スーダン人向け出版物におけるアラビア語変種の多様性

筆者は2011年12月31日時点で、“Juba Arabic” または “Sudanese Arabic” と表記された在豪南部スーダン人向け出版物 (ウェブサイト・パンフレット・CD・DVD) に関して、本稿付録に挙げた38点を収集している¹³。これらのうち、単一の出版物において “Juba Arabic” と “Sudanese Arabic” が分類されて出版された例は存在せず、発注者 (オーストラリア人) 側がこれらの2変種を区別していない可能性が指摘できる。次に、出版物の作成者 (在豪南部スーダン人) が発注された言語名に対し、実際にどの変種に翻訳しているかが問題となる。

まず、実際にこれらの出版物を言語資料として分析する上で、標準アラビア語以外のアラビア語変種について、3.2での議論を簡略化し、(9)のように動詞活用の有無を認定基準として設けた。この上でJA, MJA, SCA, MSAの4種類に分類するが、MSAはある程度、正書法などの規範を持っているため、本稿では特に認定基準を設けていない。

- (9) **JA** : 動詞活用を持たない (テキスト内で動詞全てが活用しない)。
MJA : 随意的な動詞活用を持つ (テキスト内の動詞活用の有無が揺れる)。
SCA : 義務的な動詞活用を持つ (テキスト内の動詞全てが活用する)。

具体的に各変種を代表する例文を以下に示す。まず、(10)はJAの例であるが、動詞は活用を持たない。なお、一般的に出版物におけるJAには高級語彙を中心にSCAやMSAからの借用が顕著である (仲尾2011b) が、今回はJAやMJAの認定基準とはしない。

(10) **JA の例** (Migrant Resource Centre Southern Tasmania n.d., 表記はママ)

- a. *Nas CBS bi arufu gale nas ajusin bi hibu geni fi beit ketir.*
人々 CBS TAM 知る COMP 人々 老人.PL TAM 好む 居る LOC 家 沢山

「CBSの人々は、老年の方々が長く家に居たがることを知っています。」

- b. *Fi wokit tani umon deiru nas bi geni wa saudu umon.*
LOC とき INDEF 3PL 欲する 人々 TAM 居る そして 助ける 3PL

「時に、彼らは誰かに居てもらい、手伝ってもらいたがっています。」

次に、(11)はMJAの例であるが、*sadu*「助ける」、*ishtakalu*「働く」、*bi agder*「できる」などは動詞活用を持たないのに対して、*na amulu*「私たちは作る」、*ta ligo*「あなたが見つける」は主語人称による動詞活用を示していると考えられる。また、(8)で言及した接尾人称代名詞 (11a. *inda na* 「私たちは持つ」) も観察される。

¹³ 対象者が在豪南部スーダン人に限定されない、“Arabic” と表記された出版物も当然ながら多数存在する。しかし、筆者の調査の限り、この言語名表記がJA, MJA, SCAを表している例は存在せず、南部スーダン以外のいわゆるアラブ地域出身者が作成していると考えられる。

(11) **MJA の例** (Centrelink n.d., 表記はママ)

a. *Anina inda na malumat al bi sadu ita bi arabi juba.*

1PL 持つ-1PL 情報 REL TAM 助ける 2SG INS JA

「私どもには、皆様に役立つジュバ・アラビア語での情報があります。」

b. *Anina ga ishtakalu shaded al shan na amulu le ita sika sahil/basit*

1PL TAM 働く とても ために 1PL-作る DAT 2SG 道 簡単な

kef ita bi agider ta ligo malumat fi shabaka ta nina bi arabi juba.

どう 2SG できる 2SG-見つける 情報 LOC ウェブ の 1PL INS JA

「私どもは、皆様がジュバ・アラビア語で私どものウェブサイト上の情報を見つけやすい方法を構築するため、一生懸命努めております。」

(12) は SCA の例であるが、このテキストでは動詞は必ず活用 (*shiil* 「取れ」、*ta-mrug* 「あなたが外出する」) している。また、接尾人称代名詞を持つ (*ma'aa-k* 「あなたと共に」、*beet-ak* 「あなたの家」)。なお、(8) では MJA がふつう文法性を持たないことを述べたが、以下の例では性の一致を表す接尾辞 (*muhimm-a*, ただし無生物名詞複数形は文法性体系上、女性単数形として一致する) が観察される。

(12) **SCA の例** (NSW States Eergency Service n.d.)

shiil ma'aa-k 'ayyi 'awraak, suwar fotoghrafiy-a, 'aw 'idhbaat hawiiya

取る.IMP COM-2SG 全 紙.PL 写真.PL または 身分証明書

muhimm-a, lamman ta-mrug min beet-ak.

重要な-F とき 2SG-外出する.IMPERF から 家-2SG

「家から出るときには重要な書類、写真または身分証明書を持っていくこと。」

(13) は MSA の例であるが、MSA に顕著な語彙 (MSA. *marḥaban bi-kum*, cf. SCA. *marḥab bee-kum* 「(皆様) ようこそ」、MSA. *haadha*, cf. SCA. *da* 「この.M」) が観察される。

(13) **MSA の例** (Maribyrnong City Council n.d.)

marḥaban bi-kum fii madiinat maribanonj.

ようこそ INS-2PL LOC 市 マリビノン

haadha d-daliil 'ibaara 'an tagdiim li majlis maribanonj.

この.M DEF-指南 説明 について 紹介 DAT 市議会 マリビノン

「ようこそマリビノン市へ。この指南はマリビノン市議会についての説明です。」

以上のような基準に基づいて分類した結果、表4が得られた。

“Juba Arabic”と題されている場合にはJAまたはMJA、“Sudanese Arabic”と題されている場合にはSCAまたはMSAが観察され、言語名が実際の言語変種と相関している傾向が見られる。このことから、結論として出版物の作成者(在豪南部スーダン人)が、少なくとも“Juba Arabic”と“Sudanese Arabic”という言語名に関して異なる変種であると認識している可能性が指摘できる。また、筆者が現時点で収集した限りにおいては、“Juba Arabic”に比べて“Sudanese Arabic”と言語名表記された出版物が多いことも指摘できそうである。

表4：在豪南部スーダン人向けアラビア語変種出版物

	JA	MJA	SCA	MSA
“Juba Arabic” ¹⁴	12	1	0	0
“Sudanese Arabic” ¹⁵	0	0	17	8

Borland & Mphande (2008) はスーダン共和国やエジプト共和国で難民経験を経た在豪南部スーダン人以外は“Sudanese Arabic”や“Classical Arabic”(=標準アラビア語)を好まない傾向を報告している。表4から浮かび上がる、“Sudanese Arabic”が出版物に多用される傾向は、元来の「アクセスと平等」の理念に反しており、この状況は現代オーストラリアの言語サービスにおいて、今後改善されるべき課題であろう。

なお、仲尾(2011b)では、Centrelinkの提供している出版物*Helping Centrelink customers get work*の“Juba Arabic”(MJA)版、*Musaada le zabain ta Centrelink al shan ligo shokol*について言及したが、Internet Archive(www.archive.org)で確認できる限り、この翻訳版は2006年にウェブ上にアップロードされ、2009年に削除されていたため、表4には反映されていない。

これに前後して、Centrelinkは2008年に“Sudanese Arabic”による*Centrelink information for new Australians*(CD, cf. 本稿付録)を出版している。この事例からCentrelinkの在豪南部スーダン人向け出版物において、アラビア語変種が“Juba Arabic”から“Sudanese Arabic”に移行したといえそうであるが、その理由は今後、今回分析した出版物資料がどのように移行(削除・改版)されていくかを観察した上で考察すべき問題である。

3.3.2 在豪南部スーダン人向け出版物における媒体の多様性

変種の多様性に関しては上記のような結果が得られたが、さらに問題となるのは媒体である。一般的に標準アラビア語を除くアラビア語変種(JA, MJA, SCAなど)は正書法を持たず、当然、識字教育も公的には行われていない。Borland & Mphande(2008)は“Sudanese Arabic”に関し、(特に老年層は)対面による通訳や音声や映像による出版物を望む傾向を報告している。本稿付録に示した出版物のうち、例えばVictorian Electoral Commission(n.d.)が

¹⁴ “Arabic Juba”, “Juba”, “Juba Arabic (Sudanese Arabic)”を含む。

¹⁵ “Arabic - Sudanese”, “Sudanese”, “Southern Sudanese Arabic”を含む。

「アラビア語」(MSA) および「ディンカ語」に関しては正書法を用いた印刷物、“Sudanese Arabic”(SCA) に関しては mp3 ファイルを公開しているなど、在豪南部スーダン人の要望は、少なくとも部分的には実現しつつあるようである。

しかし、文字を用いた印刷物の出版も行われている。本稿付録に挙げた出版物一覧に見られる一般的な傾向として、“Juba Arabic”はラテン文字、“Sudanese Arabic”はアラビア文字によりそれぞれ表記されている。興味深い例外として、Legal Aid NSW (2011) によるアラビア文字を用いた“Juba Arabic”(JA) 表記の試みがある(さらに mp3 ファイルも付されている)。この出版物には仲尾(2011a)で分析した旧版(Legal Aid NSW, n.d. *Welcome to Legal Aid*)が存在し、そこではラテン文字により“Juba Arabic”(JA)が表記されていた。先述の Centrelink の出版物におけるアラビア語変種の移行と併せて、Legal Aid NSW における文字の移行は、21世紀初頭オーストラリアにおいて、規範なき在豪南部スーダン人のリングフランカと格闘する言語サービスの混乱を示す貴重な例といえるかもしれない。

4 まとめ

本稿では、仲尾(2011b)を補足・修正し、南部スーダンで話されるアラビア語変種の一つとして「中層話体的ジュバ・アラビア語(MJA)」を認め、MJAは上層話体にも基層話体にも存在しない独自の特徴を持っていることを指摘した。また、MJAは南部スーダン北部地域で話されているものと、ハルツームなどのディアスポラコミュニティで話されているものに大別でき、前者が後者の発生に影響を与えた可能性についても言及した。また、簡易インタビューに基づき、メルボルンではMJA話者がJA話者より多い可能性についても述べた。

さらに、本稿ではオーストラリアで言語サービスの名の下に出版された「スーダン・アラビア語」・「ジュバ・アラビア語」資料を分析し、「スーダン・アラビア語」と「ジュバ・アラビア語」を峻別して別々に翻訳版が作成された例はないこと、「スーダン・アラビア語」はアラビア文字で書かれたSCAまたはMSA、「ジュバ・アラビア語」はラテン文字で書かれたJAやMJAを指す傾向が強いこと、「スーダン・アラビア語」の出版物数の方が「ジュバ・アラビア語」の出版物数より多いことなどが明らかになった。どちらかといえばMSAやSCA偏重のこの傾向は、実際の在豪南部スーダン人の需要とは必ずしも一致しておらず、結論的に言語サービスとしては未だ混乱している状況であると言える。

この混乱の原因としては、まず、在豪南部スーダン人(の一部)が一次避難先のハルツームやカイロで威信的なSCAやMSAを獲得し、その威信がオーストラリアの言語サービスに移植されたことに起因する可能性が指摘できる(JAと比べてややSCA的な特徴を持つMJAを、話者自身が“Juba Arabic”ではなく“Sudanese Arabic”だと主張した可能性もある)。また、ホストであるオーストラリア人側でもそのような言語背景に無理解であり、正書法などの規範がない言語変種を、従来の言語サービスに強引に組み込んだことも問題である。

在豪南部スーダン人は未だ若いコミュニティであり、今後も言語維持や言語サービスなどはさらに重要な課題となることが予想される。本稿は予備的ながら、2011年時点での彼らの社会言語学的・記述言語学的報告としたい。

グロス略号一覧

1	1 人称	DEF	定冠詞	LOC	位格前置詞
2	2 人称	F	女性形語尾	NEG	否定標識
3	3 人称	FOC	焦点化標識	PERF	完了相
COM	共格前置詞	IMP	命令	PL	複数
COMP	補文標識	IMPERF	未完了相	REL	関係節標識
COP	コピュラ	INDEF	不定性標識	SG	単数
DAT	与格前置詞	INS	具格前置詞	TAM	TAM 標識

付録：GO・NGOのアラビア語変種による出版物一覧

3.3 で分析した GO・NGO 出版物 (印刷物以外は媒体の種類を記す) を以下に挙げる。言語名に関しては、まず“Sudanese Arabic”または“Juba Arabic”を挙げ、標準アラビア語やディンカ語・ヌエル語によるものがあれば併記した。なお、これらには全て英語版が存在しているが、言語名一覧からは削除した。また、ウェブページには URL を、その他の出版物にも参考 URL を付した (いずれも最終閲覧日は 2011 年 12 月 31 日)。

Australian multicultural foundation (n.d.) *Memory loss: Disrupting daily life. A national dementia campaign.* (参考 URL: amf.net.au/entry/national-dementia-campaign): **“Arabic - Sudanese” (SCA)**

Brimbank City Council (n.d.) *Multilingual.* (参考 URL: www.brimbank.vic.gov.au/Multilingual): **“Sudanese” (SCA), “Arabic” (MSA)**

Cancer Council Victoria (n.d.) *Skin: UV radiation and vitamin D.* (参考 URL: www.cancervic.org.au/resources/default.asp): **“Sudanese Arabic” (MSA), “Arabic” (MSA), “Dinka”, “Nuer”**

Centrelink (2008) *Centrelink information for new Australians* (CD). (参考 URL: www.centrelink.gov.au/internet/internet.nsf/publications/ah1723.htm): **“Sudanese Arabic” (SCA), “Arabic” (MSA), “Dinka”**

Centrelink (n.d.) *We speak your language* (ウェブページ). (URL: www.centrelink.gov.au/internet/internet.nsf/languages/index.htm および www.centrelink.gov.au/internet/internet.nsf/languages/jz.htm): **“Juba Arabic” (MJA), “Arabic” (MSA), “Dinka”, “Nuer”**

City of Casey (n.d.) *Community Grants.* (参考 URL: www.casey.vic.gov.au/doclib/document7Apr2010-100802.pdf?saveAs=Community_Grants_Translation_v7Apr10.pdf): **“Juba Arabic” (JA), “Arabic” (MSA), “Dinka”**

Energy & Water Ombudsman NSW (n.d.) *Information for electricity, gas and water customers.* (参考 URL: www.ewon.com.au/index.cfm/publications/translated-information): **“Juba Arabic (Sudanese Arabic)” (JA), “Arabic” (MSA), “Dinka”**

- Good Shepherd (2009) *Education Costs Kit: A Resource for Community Agencies*. (参考 URL: www.goodshepvic.org.au/resources): **“Sudanese Arabic” (SCA), “Arabic” (MSA)**
- Government of Western Australia, Fire & Emergency Services Authority (2011a) *Evaporative Air Conditioners*. (参考 URL: www.fesa.wa.gov.au/safetyinformation/fire/bushfire/Pages/evaporativeairconditioners.aspx): **“Sudanese Arabic” (SCA), “Arabic” (MSA), “Dinka”, “Nuer”**
- Government of Western Australia, Fire & Emergency Services Authority (2011b) *If a Storm has Damaged Your Home*. (参考 URL: www.fesa.wa.gov.au/safetyinformation/storm/Pages/publications.aspx): **“Sudanese Arabic” (SCA), “Arabic” (MSA), “Dinka”, “Nuer”**
- Government of Western Australia, Fire & Emergency Services Authority (2011c) *Picking up the Pieces – After a Fire in the Home*. (参考 URL: www.fesa.wa.gov.au/safetyinformation/fire/fireinthefireinthehome/Pages/publications.aspx): **“Sudanese Arabic” (SCA), “Arabic” (MSA), “Dinka”, “Nuer”**
- Government of Western Australia, Fire & Emergency Services Authority (2011d) *Prepare for a Storm*. (参考 URL: www.fesa.wa.gov.au/safetyinformation/storm/Pages/publications.aspx): **“Sudanese Arabic” (SCA), “Arabic” (MSA), “Dinka”, “Nuer”**
- Government of Queensland, Office for Early Childhood Education and Care (n.d.a) *Kindergarten brochure*. (参考 URL: deta.qld.gov.au/earlychildhood/families/resources.html): **“Juba Arabic” (JA), “Arabic” (MSA)**
- Government of Queensland, Office for Early Childhood Education and Care (n.d.b) *A kindergarten program for every child fact sheet*. (参考 URL: deta.qld.gov.au/earlychildhood/families/resources.html): **“Juba Arabic” (JA), “Arabic” (MSA)**
- Government of Queensland, Office for Early Childhood Education and Care (n.d.c) *More kindergarten services for Queensland families fact sheet*. (参考 URL: deta.qld.gov.au/earlychildhood/families/resources.html): **“Juba Arabic” (JA), “Arabic” (MSA)**
- Italk Library (n.d.) *A Sudanese Story* (DVD). (参考 URL: www.italklibrary.com/a-sudanese-story-sudanese-arabic): **“Sudanese Arabic” (SCA)**
- Legal Aid New South Wales (2011) *How Legal Aid NSW can help you*. (参考 URL: www.legalaid.nsw.gov.au/languages, mp3 ファイル付き): **“Arabic (Juba)” (JA), “Arabic” (MSA), “Dinka”**
- Legal Aid Queensland (n.d.) *Help in Court... for Women*. (参考 URL: www.legalaid.qld.gov.au/publications/pages/translated-material-by-publication.aspx): **“Sudanese Arabic” (MSA), “Arabic” (MSA)**, ただし、タイトル以外は同じ文面。
- Loddon Compaspe Community Legal Centre (n.d.) *Victoria Legal Aid*. (参考 URL: www.communitylaw.org.au/loddoncompaspe/cb_pages/Fact_Sheets.php): **“Sudanese Arabic” (SCA)**
- Loddon Compaspe Community Legal Centre (n.d.) *Community Legal Centres*. (参考 URL: www.communitylaw.org.au/loddoncompaspe/cb_pages/Fact_Sheets.php): **“Sudanese Arabic” (SCA)**

- Maribyrnong City Council (n.d.) *Welcome to Maribyrnong* (ウェブページ). (URL: www.maribyrnong.vic.gov.au/Page/Page.asp?Page_id=5533, mp3 による解説付き): **“Sudanese Arabic” (MSA)**, ただし SCA の影響が顕著。
- Migrant Information Centre Eastern Melbourne (2006a) *Understanding Money in Australia*. (参考 URL: www.miceastmelb.com.au/research.htm): **“Sudanese Arabic” (MSA)**, **“Dinka”**, **“Nuer”**
- Migrant Information Centre Eastern Melbourne (2006b) *Using ATM's*. (参考 URL: www.miceastmelb.com.au/research.htm): **“Sudanese Arabic” (MSA)**, **“Dinka”**, **“Nuer”**
- Migrant Resource Centre Southern Tasmania (n.d.) *Community Partners Program Aged Care Information Resource Kit*. (参考 URL: www.mrchobart.org.au/content/aged-care-resources): **“Arabic Juba” (JA)**
- Multicultural Health & Support Service (n.d.) *Multicultural Health & Support Service*. (印刷物のみ): **“Sudanese Arabic” (MSA)**, **“Nuer”**
- National Disability Coordination Officer Program Victoria (n.d.) *What is the NDCO Program?* (参考 URL: www.ndcovictoria.net.au): **“Juba Arabic” (JA)**, **“Dinka”**
- NSW Fair Trading (2009) *Renting – what you need to know* (mp3). (参考 URL: www.fairtrading.nsw.gov.au/About_us/Video_and_audio/Renting_what_you_need_to_know.html): **“Juba” (JA)**, **“Dinka”**
- NSW Family & Community Services (n.d.) *Raising kids together*. (参考 URL: www.adhc.nsw.gov.au/publications/other_languages): **“Juba Arabic” (JA)**, **“Arabic” (MSA)**, **“Dinka”**
- NSW Lawlink Attorney General & Justice (2010) *The Law and You, Legal Information for African Communities in NSW* (DVD). (参考 URL: www.lawlink.nsw.gov.au/lawlink/diversityservices/LL_DiversitySrvces.nsf/pages/diversity_services_justicesys_eng): **“Juba Arabic” (JA)**, **“Arabic” (MSA)**, **“Dinka”**
- NSW Refugee Health Improvement Network (2007) *Health Check DVD: Health information for recently arrived African communities in Australia* (DVD). (参考 URL: www.mhcs.health.nsw.gov.au/publicationsandresources/audioandvideo/audiovideo.asp および www.youtube.com/user/refugeehealth): **“Juba Arabic” (JA)**, **“Dinka”**
- NSW Refugee Health Service (2005) *Talking about Medicines* (CD). (参考 URL: www.sswahs.nsw.gov.au/sswahs/refugee/mhr.html): **“Southern Sudanese Arabic” (SCA)**, **“Dinka”**
- NSW States Emergency Service (n.d.) *FloodSafe*. (参考 URL: www.ses.nsw.gov.au/community-safety/communitylanguageresources2, mp3 ファイル付き): **“Sudanese Arabic” (SCA)**, **“Arabic” (MSA)**, **“Dinka”**, **“Nuer”**
- VIC Department of Health (2011) *Cheers: alcohol and your family*. (参考 URL: www.druginfo.adf.org.au/information-for/cheers-alcohol-and-your-family): **“Sudanese Arabic” (SCA)**, **“Arabic” (MSA)**
- Victorian Electoral Commission (n.d.) Information. (参考 URL: www.vec.vic.gov.au/language-tis.html および www.vec.vic.gov.au/language-Sudanese-Arabic.html): **“Sudanese Arabic” (SCA)**, **“Arabic” (MSA)**, **“Dinka”**, ただし“Sudanese Arabic” は mp3

Victorian Equal Opportunity & Human Rights Commission (n.d.) *Information in languages other than English*. (参考 URL: www.humanrightscommission.vic.gov.au/index.php?option=com_k2&view=item&id=1218&Itemid=688): “Sudanese Arabic” (SCA), “Arabic” (MSA), “Dinka”, “Nuer”

South Australia Department of Health (n.d.) *Lye Water information for the African Community*. (参考 URL: www.health.sa.gov.au/pehs/lye-water-translations.htm): “Sudanese Arabic” (MSA), “Arabic” (MSA), “Dinka”

Tennis Victoria (n.d.) *Welcome to tennis – Tennis in 14 languages*. (参考 URL: www.tennis.com.au/vic/play-tennis/getting-started/multicultural-program): “Sudanese Arabic” (SCA), “Arabic” (MSA)

Victorian Refugee Health Network (n.d.) *First Foods for Babies*. (参考 URL: www.refugeehealthnetwork.org.au/resources/Nutrition): “Sudanese Arabic” (MSA), “Arabic” (MSA), “Nuer”

参考文献 (URL の最終閲覧日はいずれも 2011 年 12 月 31 日)

Bianco, Nicky Lo, Andrew Cunningham & Colleen McCombe (2009) *New communities, emerging content: digital inclusion for minority language groups*. Melbourne: State Library of Victoria. (URL: www.law4community.org.au/scope/wp-content/uploads/2010/04/NCEC-report.pdf)

Borland, Helen & Charles Mphande (2006) *The Numbers of Speakers of African Languages Emerging in Victoria: Report to Victorian Office of Multicultural Affairs Department for Victorian Communities*. Melbourne: Victoria University. (URL: vuir.vu.edu.au/439)

Borland, Helen & Charles Mphande (2008) “Communicating with Victoria’s Emerging African Language Communities: Issues and Responses” *Openroad 2008 Conference: Multilingualism and Information Society, 15–16 May, 2008, Melbourne*. (URL: www.openroad.net.au/conferences/2008/borland.html)

Coffey, Margaret. (2004) *Life in transit: the experiences of Sudanese refugees arriving in Australia*. (URL: sora.akm.net.au/publish.php)

Dumenden, Iris Enriquez (2007) *A Case Study of an ESL Literacy Learner from Sudan*. La Trobe University: MA thesis.

Gil, David (2006) “Distinctly Mesolectal Properties in Malay/Indonesian Dialects”. Paper presented at the Sixteenth Annual Meeting of the Southeast Asian Linguistics Society, Jakarta, Indonesia, 21 Sept. 2006. (URL: lingweb.eva.mpg.de/Jakarta/seals/Gil_SEALS_XVI_Abstract.pdf)

Hajek, John & Simon Musgrave (2010) “Sudanese Languages in Melbourne: Linguistic Demography and Language Maintenance” in Y. Treis & R. de Busser (eds.) *Selected Papers from the 2009 Conference of Australian Linguistic Society*. (URL: www.als.asn.au/proceedings/als2009.html)

Hatoss, Aniko & Terry Sheely (2009) “Language Maintenance and Identity among Sudanese-Australian refugee-background youth” *Journal of Multilingual and Multicultural Development* 30 (2): 127–144.

- Kaye, Alan. S. (1991) “Nilo-Saharan influence on Kinubi” *Proceedings of the Third Nilo-Saharan Linguistics Colloquium Kisumu, Kenya, August 4-9, 1986* (Nilo-Saharan Vol. 6). Hamburg: Helmut Buske, pp. 123–129.
- Kaye, Alan S. & Mauro Tosco (1993) “Early East African Pidgin Arabic” *Sprache und Geschichte in Afrika*. 14: 269–305.
- Lai, Miranda & Sedat Mulayim (2011) “Training Interpreters in Rare and Emerging Languages: The Problems of Adjustment to a Tertiary Education Setting” *International Journal of Social Inquiry* 4 (1): 159–184.
- Lewis, M. Paul ed. (2009) *Ethnologue: Languages of the World, Sixteenth edition*. (Online version). (URL: www.ethnologue.com)
- Manfredi, Stefano (2010) *A Grammatical Description of Kadugli Baggara Arabic*. Università degli Studi di Napoli “L’Orientale”: Ph.D. thesis.
- 仲尾周一郎 (2011a) 「ジュバ・アラビア語の現在 —社会言語学的諸相および表記の発達から見るその動態」 『アラブ・イスラーム研究』 9: 79–103.
- 仲尾周一郎 (2011b) 「現代若年層ジュバ・アラビア語についての予備的報告」 『地球研言語記述論集』 3: 59–83.
- 松田陽子 (2005) 『オーストラリアの言語政策と多言語主義：多文化共生社会にむけて』 兵庫県立大学経済経営研究所.

GO・NGO 関連参考文献・URL (注記のない限り、URL の最終閲覧日は 2011 年 12 月 31 日)

Agamlöj Online. (URL: home.vicnet.net.au/~agamlong)

CLA; Community Languages Australia (2007) *Operational and Administrative Procedures Manual for Community Languages Schools*. (参考 URL: www.communitylanguagesaustralia.org.au/Documents/Operational_Manual.pdf)

DEEWR; Australian Government: Department of Education, Employment and Workplace Relations (2009) *First Language (Dinka) Literacy as a Foundation for English Language, Literacy and Numeracy: Report*. (参考 URL: www.deewr.gov.au/Skills/Programs/LitandNum/LiteracyNet/Documents/FirstLanguageDinkaLiteracy.pdf)

DIAC; Australian Government: Department of Immigration and Citizenship. (URL: www.immi.gov.au)

DIAC (2007) *Sudanese Community Profile*. (参考 URL: www.immi.gov.au/living-in-australia/delivering-assistance/government-programs/settlement-planning/_pdf/community-profile-sudan.pdf)

DIAC (2010) *Beginning a life in Australia*. (参考 URL: www.immi.gov.au/living-in-australia/settlement-in-australia/beginning-life)

DIAC (n.d.) *Community Information Summary: Sudan-born*. (参考 URL: http://www.immi.gov.au/media/publications/statistics/comm-summ/_pdf/sudan.pdf)

MRCNWR; Migrant Resource Centre North West Region (2006) *Community Profiles: Sudan Born Community*. (参考 URL: www.mrcnorthwest.org.au/content/Publications/Community%20Profiles/sudan06.pdf, 最終閲覧日は 2011.9.26)

SAIL (Sudanese Australian Integrated Learning) Program. (URL: www.sailprogram.org.au)

SAIL Program (2005) *SAIL Program Newsletter*. March 2005. (参考 URL: www.sailprogram.org.au/site/category/newsletters)

VMC; Victorian Multicultural Commission (URL: www.multicultural.vic.gov.au)

VMC (2007) *Population Diversity in Local Councils in Victoria: 2006 Census*. (参考 URL: www.multicultural.vic.gov.au/population-and-migration/victorias-diversity/population-diversity-in-local-councils)

VMC (n.d.) *Victorian Interpreter Card*. (URL: www.multicultural.vic.gov.au/projects-and-initiatives/improving-language-services/victorian-interpreter-card)

謝辞

本稿は日本学術振興会特別研究員奨励費 (DC1) (課題番号 23・6924) による研究成果の一部である。本調査の大半はラトローブ大学言語類型論研究センター (RCLT) に客員研究員として在籍した期間 (2011 年 9 月) に行った。この調査を行うにあたってご助力いただいた総合地球環境学研究所の大西正幸先生、長田俊樹先生、RCLT の Tonya Stebbins 先生、モナシュ大学の Simon Musgrave 先生、ラトローブ大学構内・ビクトリア大学構内・フッツクレイ商店街・ノーブルパーク商店街などで自由談話を提供していただいた在豪南部スーダン人の皆様、またコメントを頂いた言語記述研究会の稲垣和也氏に、記して謝意を表します。